

淡路警察署だより 8月号

警察官募集

～令和8年度第2回兵庫県警察官募集～

【警察官募集】

～令和8年度第2回兵庫県警察官募集～

受付期間 7月21日(火)～8月14日(金)

第一次試験日 9月19日(土)

採用予定人数 一般区分 男性157人 女性24人

キャリアアピール区分 男性20人 女性10人

特別区分 サイバー捜査 若干名 武道4人

【警察官（サイバー捜査官選考）募集】

受付期間 年間を通じて随時受付

選考日 応募の都度決定

採用予定人数 若干名

詳細は、兵庫県警察のホームページをご覧ください。

問合せ先 兵庫県警察官採用センター 0120-145-314

防災意識の高揚

～風水害に備えて～

これからの時季は、台風や局地的な大雨の影響により、河川の急な増水・氾濫、土砂崩れなどが発生するおそれがあります。

普段から「逃げるタイミング」「逃げる場所」を考えておくとともに、気象庁が発表する気象情報や、市・町長が発令する避難情報等を入手し、早めの避難を心掛けましょう。

新たな防災気象情報について

市・町長が発令する避難情報等は、皆さんの命を守るための大切な情報です。

「自らの命は自らが守る」意識を持って自らの判断で避難行動をとりましょう。

5段階の警戒レベルと防災気象情報

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のかけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとに) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

参考【防災気象情報の改善について（気象庁、国土交通省）】

避難情報等について

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府（防災担当））では「住民は「自らの命は自ら守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動をとる」との方針が示され、この方針に沿って自治体や気象庁などから発表される防災情報を用いて住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明記して防災情報が提供されることとなっています。

自治体から警戒レベル4 避難指示や警戒レベル3 高齢者等避難が発令された際には速やかに避難行動をとってください。

避難情報等	居住者等がとるべき行動等
【警戒レベル5】 緊急安全確保 (市町村長が発令)	●発令される状況：災害発生又は切迫（必ず発令される情報ではない） ●居住者等がとるべき行動：命の危険 直ちに安全確保！ ・指定緊急避難場所等への立退き避難することがかえって危険である場合、緊急安全確保する。ただし、災害発生・切迫の状況で、本行動を安全にとることができるとは限らず、また本行動をとったとしても身の安全を確保できるとは限らない。
【警戒レベル4】 避難指示 (市町村長が発令)	●発令される状況：災害のおそれ高い ●居住者等がとるべき行動：危険な場所から全員避難 ・危険な場所から全員避難（立退き避難又は屋内安全確保）する。
【警戒レベル3】 高齢者等避難 (市町村長が発令)	●発令される状況：災害のおそれあり ●居住者等がとるべき行動：危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等※は危険な場所から避難（立退き避難又は屋内安全確保）する。 ※避難を完了させるのに時間を要する在宅又は施設利用者の高齢者及び障害のある人、妊産婦、乳幼児連れの人等、及びその人の避難を支援する者 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、出勤等の外出を控えるなど普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングである。例えば、地域の状況に応じ、早めの避難が望ましい場所の居住者等は、このタイミングで自主的に避難することが望ましい。
【警戒レベル2】 レベル2 大雨・土砂災害・氾濫・高潮注意報 (気象庁が単独発表または気象庁と国土交通省等が共同発表) ※	●発表される状況：気象状況悪化 ●居住者等がとるべき行動：自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により自宅・施設等の災害リスク、指定緊急避難場所や避難経路、避難のタイミング等を再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認・注意するなど、避難に備え自らの避難行動を確認。
【警戒レベル1】 早期注意情報 (気象庁が発表)	●発表される状況：今後気象状況悪化のおそれ ●居住者等がとるべき行動：災害への心構えを高める ・防災気象情報等の最新情報に注意する等、災害への心構えを高める。

災害への備え

大規模災害が発生した場合、避難所に十分な食料がない可能性があります。

一人1つ、両手が使えるリュックサックなどを準備し、家族構成に合わせて必要なものを考えましょう。

非常時に持ち出す物（参考）

- | | |
|---|------------------------------------|
| ☐ 水（ペットボトルなど） | ☐ タオル・毛布 |
| ☐ 非常食（アルファ化米・レトルト食品など） | ☐ 歯ブラシ |
| ☐ 救急セット・常備薬 | ☐ マスク |
| ☐ ラジオ | ☐ 消毒液・除菌シート |
| ☐ 懐中電灯・ヘッドランプ | ☐ 筆記用具 |
| ☐ 乾電池・モバイルバッテリー | ☐ 預金通帳 |
| ☐ 現金（小銭も用意しましょう） | ☐ 手袋 |
| ☐ 服・下着など | |

※ 定期的に中身を確認しましょう。

参考情報

- 兵庫県警察ホームページには、他にも様々な防災情報を掲載しています。



- 兵庫県CGハザードマップを活用して、身の回りの場所にどんな危険が潜んでいるのか確認しましょう。

【兵庫県CGハザードマップ】
<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp>

ハザードマップのほかにも、天気や川の様子、鉄道の運行状況などがわかる「リアルタイム情報」や、兵庫県の自然災害記録集「防災学習アーカイブス」があります。